



あんしん道あいさ 第28号



一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

<http://www.ansinmichiaichi.jp>

TEL(052)241-4515/FAX(052)252-8156/E-mail[zen-ai@syd.odn.ne.jp]

目次

ごあいさつ	(1)
〈令和6年度子どもを守るうプロジェクト〉	(2)
令和6年度あま市通学路カラー標示寄贈及び贈呈式	
〈交通安全啓蒙活動〉交通安全活動に対する愛標協の取り組み	(3)
〈非常災害対策プロジェクト〉	(4)
災害時保安機材供出ネットワーク地区別訓練報告	
〈交通安全施設研修会〉開催報告	(5)
〈技術情報/防護柵・遮音壁部会〉	(6)
安全管理の観点から見た防護柵のあり方について	
〈技術情報/標識部会〉	(7)
道路標識・道路反射鏡の維持管理と点検・補修について	
〈技術情報/標示部会〉	(8)
自動運転の普及に伴う区画線整備の必要性	
〈技術情報/安全施設部会〉災害時に貢献する減災・安全施設	(9)
〈路面標示技能士検定〉令和6年度路面標示施工技能士検定実施報告	(10)
〈次世代研修会・交流会〉令和6年度「次世代研修会」開催報告	(11)
〈定時総会〉定時総会開催報告	
会員名簿	(12)



より安全・安心な通学路の確保のための
カラー標示等による安全対策
(愛知県あま市/あま市立美和小学校)

ごあいさつ

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会 会長

平素は格段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。



愛知県の交通事情をみますと、交通死亡事故ワースト回避連続5年が経過し、順調に事故発生件数は減少してきました。しかしながら2022年から一転、経済活動が平準化するとともに事故件数が増加し、死亡者重傷者ともに極めて厳しい状況にあります。

第11次愛知県交通安全基本計画(2021年度~2025年度)~交通事故のない社会を目指して~では、人優先の交通安全思想を基本とし、高齢化が進展しても安全に移動できる社会の構築実現のため、以下の目標が設定されています。

①年間の24時間死者数を125人以下にする。

②交通事故重傷者数を600人以下にする。

現在も不幸な事故は増加をしています。現状では目標達成には更なる努力が必要と思われます。効果のある交通安全対策を施し、交通事故による悲しみの数を1つでも多く無くすことを命題としております。このような状況下において当協会が取り組む事業の一部を次のとおりご紹介いたします。

運転支援技術と道路区画線

自動運転レベル4が2025年を目処に社会実装

されます。区画線の剥離率を測定する技術や管理についてご提案し、剥離した区画線の延長調査を実施してまいります。

生活道路の安全対策「ゾーン30プラス」

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、当協会は当該地に適切な物理的デバイス設置の提案をしております。

次世代研修会を通じて業界の若手育成

若い世代の声を取り上げ、ベテラン世代と若手世代のコラボレーション(融合)と継承を通じて、より一層魅力や活力ある協会として、更に信頼される組織を目指して推進してまいります。



その他、子どもを守るうプロジェクト、非常災害対策プロジェクト、交通安全運動事業、老朽化した交通安全施設の調査および報告会、交通安全施設技術研修会など多岐に亘り活動してまいります。



今後も当協会活動にご理解を賜り、ご指導ご鞭撻のほどをよろしく願いたします。

令和6年度 あま市通学路カラー標示寄贈および贈呈式

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

あま市立美和小学校通学路安全対策

通学路カラー標示の施工概要

あま市の西側にあります美和小学校の通学路にカラー標示による通学路の安全対策を施工してまいりました、現場は小学校の西門に通じた通学路で文科省の取り組んでいる交通安全プログラムで指定する危険個所です。

緑と白を組み合わせたカラーエスコートを中心に歩行者の安全に対する啓発を行えるよう提案し施工してまいりました。

あま市の土木課様のご協力による蓋のない水路の蓋かけ、舗装の修繕、その後にカラー標示等を施しましたので出来栄は上々でした。



▲美和小学校の通学路に設置した「通学路カラー標示」

注意喚起貼付けシートと視線誘導反射シート

美和小学校の西門の通学路の出口に、子どもたちが自分で気づく“飛び出し注意”の路面シートも寄贈しました。

施工に関しては美和小学校の児童と一緒に施工し、子どもたち自身が注意喚起することを願い寄贈をしました。

また、通学路の防護柵の支柱部分に、魔の時間といわれる薄暮時に効果のある反射シートを巻き付け車両の注意喚起を目的とすること提案しました。



▲美和小学校西門前に施工した「飛び出し注意路面シート」



▲ガードレール支柱に設置された「黄色視線誘導反射シート」

贈呈式の会場にて

今回のボランティア活動に対して8月2日にあま市の市長応接室において贈呈式を執り行うことができました。あま市からは村上市長様、伊藤副市長、伊藤教育長、古川建設産業部長にご出席をいただき活動の報告をしてまいりました。

村上市長様からは「大変すばらしいボランティアによりあま市の宝である子供たちの安全・安心が確保できました」とお礼を述べられました。

「当協会の技術を駆使し、一人でも多くの交通被害者を減らすべく提案を続けていきますので、今後ともよろしくお祈いします」と加藤会長が締めて贈呈式を終了しました。



あま市市長応接室にて行われた「贈呈式」

交通安全活動に対する愛標協の取り組み

交通安全運動事業委員会 村田 肇

交通安全運動活動、交通遺児を励ます会への寄付活動

全国交通安全運動について

交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会(会長：大村秀章様)が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に4回(春、夏、秋、年末)開催され、交通安全に対する啓蒙活動を行っております。今年には自転車と歩行者、自転車と車の事故が多発しているということで、自転車の交通安全啓蒙活動も多く取り入れられました。また各期の交通安全運動一斉大監視の日には会員それぞれの職域における立哨活動にも参加しています。



交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会(会長：大村秀章様)が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に4回(春、夏、秋、年末)開催され、交通安全に対する啓蒙活動を行っております。今年には自転車と歩行者、自転車と車の事故が多発しているということで、自転車の交通安全啓蒙活動も多く取り入れられました。また各期の交通安全運動一斉大監視の日には会員それぞれの職域における立哨活動にも参加しています。



秋の交通安全運動について

秋の交通安全県民運動において、当協会は(1)各地の交通安全県民運動への参加(中村警察署、豊田警察署、津島警察署管内)、(2)啓蒙グッズの配布、(3)その他ボランティア団体主催の交通安全啓蒙運動への参加を行っています。

中村警察署管内ではJR名古屋駅東口において、タレントのチャン・カワイ氏に一日署長を委嘱して交通安全のトークと啓蒙物品の配布を当協会員、太閤ライオンズクラブ等皆で行いました。



▲豊田市駅における秋の交通安全県民運動

豊田警察署管内においても当地域の協会員全員参加で交通安全啓蒙活動に参加しました。津島警察署管内は年末の交通安全運動の時期にあわせて執り行われる予定で、当協会も参加させていただき予定です。



◀JR名古屋駅東口における秋の交通安全県民運動(前列中央が一日署長のチャン・カワイ氏)

その他交通安全事業委員会活動について

その他の活動では、全国交通安全運動の期間中に開催される、愛知県高速道路安全協議会主催の交通安全活動に参加しました。

また公益財団法人交通遺児を励ます会を訪問し寄付活動を行っています。



「交通遺児を励ます会」を訪問し寄付▶

非常災害対策プロジェクト 活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長 神農 信克

非常災害時保安機材供出ネットワーク地区別訓練報告

非常災害時保安機材供出ネットワークについて

令和6年8～9月に掛けて愛知県下6地区で非常災害時保安機材供出訓練を実施致しました。

本訓練は昨今頻繁におこる大地震やゲリラ豪雨などの災害が発生した際、当局より要請を受けて被災箇所の二次災害防止にあたる訓練です。

愛知県下11か所に備蓄している保安機材(セーフティコーン・ブルーシートなど)を災害現場に搬出し、協会隊員が立入禁止区域を速やかに設置します。

万が一の災害時に官民協働で被災地の救援にあたることができるよう、各建設事務所の防災・維持担当者さまにご巡視・ご指導を賜り、有事に於けるそれぞれの役割について再認識しました。



建設事務所巡視の様子(海部)



建設事務所巡視の様子(東三河・新城設楽)

訓練風景(地区別)



令和6年度交通安全施設技術研修会 開催報告

研修委員会 舟橋 浩司

交通安全施設技術研修会 開催

開催報告

令和6年9月27日(金)名古屋市金山地内で令和6年度交通安全施設技術研修会を開催いたしました。

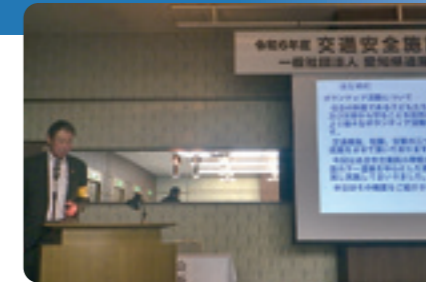
参加者は官公庁様からは中部地方整備局7名をはじめ、愛知県建設事務所11名、名古屋市1名、名古屋高速道路公社1名、他市町村38名、又当協会正会員・賛助会員74名を含めた総勢132名にて交通安全施設の研修が行われました。



▲会場の様子

公益活動紹介

子どもを守ろうプロジェクト委員会より「通学路安全対策施工寄贈について」及び非常災害対策プロジェクト委員会より「地区別訓練の実施について」が紹介されました。



▲子どもを守ろうプロジェクト委員会の発表



▲非常災害対策プロジェクト委員会の発表

特別講演

特別講演として中部地方整備局道路部交通対策課課長・飯田明弘様をお招きし「交通安全事業に関する最近の話題」と題し交通安全対策について多方向に渡りご講演いただきました。



専門部会からのプレゼンテーション

防護柵・遮音壁部会から「安全管理の観点から見た防護柵のあり方について」標識部会から「道路標識、道路反射鏡の維持管理と点検・補修について」標示部会から「自動運転の普及拡大に伴う区画線整備の必要性」



▲標識部会の発表
「道路標識、道路反射鏡の維持管理と点検・補修について」



▲標示部会の発表
「カラー標示を活用した交通安全対策事例について」



▲安全施設部会の発表
「災害時に貢献する減災・安全施設について」

「カラー標示を活用した交通安全対策事例について」安全施設部会から「災害時に貢献する減災・安全施設について」の発表がありました。質疑応答でもご質問をいただき、又、研修会終了後にもお問い合わせも寄せられるなど関心が高い研修会となりました。

安全管理の観点から見た防護柵のあり方について

錆びや腐食によって劣化した防護柵の安全性

設置されてから20年以上経過した防護柵の多くは、錆びや腐食などの老朽化が著しく進んでおり、更新が必要となってきました。当協会では安全管理の観点から危険度を目安に、防護柵の取替ランクを設定しています。取替ランク1を至急取替が必要、取替ランク2を要取替、取替ランク3を取替時期を考慮するという3段階に分けて設定しております。



愛知県内の老朽化した安全施設及び危険箇所の調査

当協会では愛知県内にて「老朽化した安全施設及び危険箇所の調査」を毎年行っております。調査対象は、一般国道、主要地方道、一般県道です。



▲錆が進んだ防護柵



▲腐食が進んで危険な状態の防護柵の支柱

錆びや腐食によって劣化した防護柵を中心に危険箇所などを特定し、取替を積極的に提案しております。

海岸などの臨海地帯では海塩粒子濃度、風向き、湿度などに影響されますが、一般的な傾向として海に近いほど腐食速度は速くなります。調査による結果も沿岸部を走る道路では市街地よりも速く老朽化が進んでおります。

錆びや腐食が進んでいる箇所への対応策

腐食してしまい、機能を失っているものに関しては、早急な対応が必要です。状況に応じて腐食している部分のみ交換するといった一時的な対策だけでも事故の重大化リスクを軽減できます。また長期的な維持が可能のため、安全性だけでなく経済



▲錆と腐食が進んだ防護柵



▲左の写真の状態から腐食部分のみ交換

性の面でも有効と考えます。私共専門業者団体は、これからも地域のインフラ、特に交通安全製品を取り扱う団体として、より円滑な交通安全施策の推進に寄与し、品質・安全・経済性を考慮した提案ができるよう、知識、技術の向上に努めていきたいと思っております。

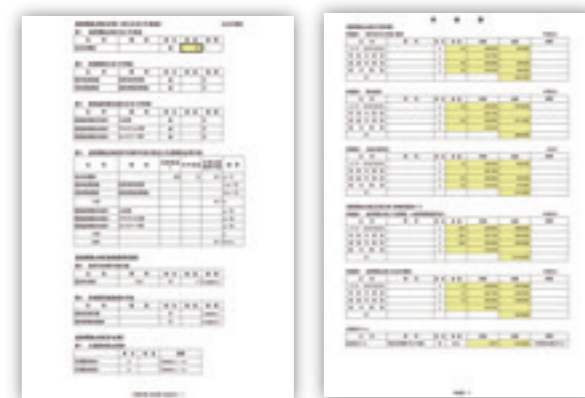
道路標識・道路反射鏡の維持管理と点検・補修について

道路標識点検診断士のご活用について

小規模附属物の落下や倒壊を防ぐには、「道路標識点検診断士」による定期的な点検を実施することが有効的です。この資格は国土交通省から小規模附属物分野の点検、診断業務において技術者資格として登録されています。愛知県内の道路標識点検診断士は、令和6年10月31日現在49名が在籍し活躍しております。

地点名標識の点検歩掛りのご提案

F型標識や門型標識は定期的に標識点検を実施している自治体が多いと聞いていますが、地点名標識については維持管理の統一的な取り決めがされておられません。令和5年11月20日に東京都江戸川区で発生したJR小岩駅前交差点に設置されていた地点名標識板の落下事故で横断歩道を通行中の80歳代の歩行者に落下し頭部裂傷及び肩を打撲した事故については記憶に新しいところです。第三者に被害を及ぼす影響がある標識ですので定期的な点検が必要です。

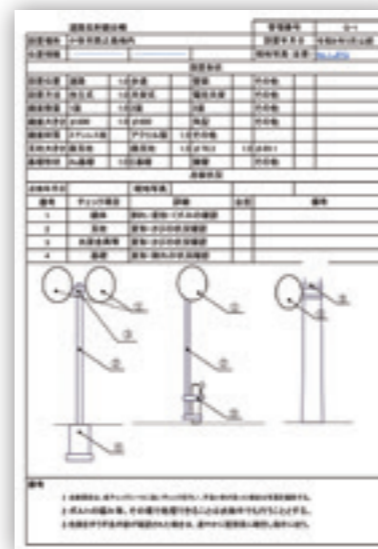


▲地点名標識点検歩掛りの一例

高所作業車を使っての点検歩掛りについてご提案させていただきます。

道路反射鏡の点検台帳・新工法SDジョイント工法のご提案

簡易な点検リスト等がございますので点検台帳をご提案させていただきます。また、柱だけの腐食や破損については、基礎や鏡面はそのまま活用して、柱とSDジョイントだけを使って簡単に補修ができます。



▲道路反射鏡台帳の一例



▲点検状況の写真の一例



▲点検状況の写真の一例

SDジョイント工法
SDジョイントと専用矯正器具を使って手軽に道路反射鏡を補修できます



▲専用矯正器具



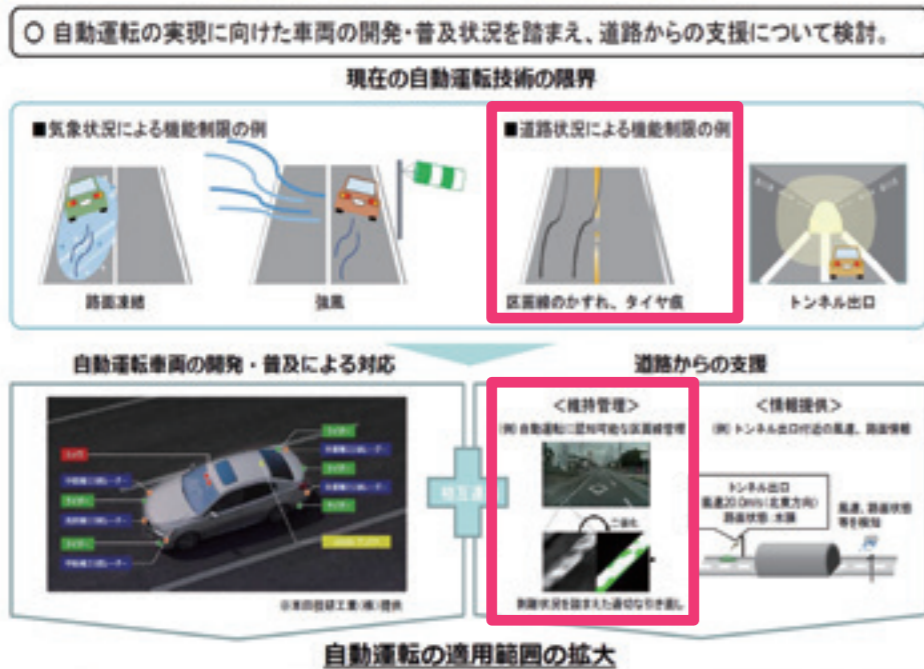
▲SDジョイント

自動運転の普及に伴う区画線整備の必要性

近年、自動運転技術を搭載した車両が多く普及しています。追突事故防止、ドライバーの負担軽減などと共に重大事故に直結する車線逸脱事故を防止できる車線逸脱防止支援システム(LKA)が注目されています。この技術では車載カメラにより道路上の区画線を認識してシステムを機能させているため、区画線視認性の低下の原因となるかすれ、剥離等はシステムの機能上大きな障害となります。今後、自動運転技術を搭載した車両が更に普及していく中で、区画線の健全度は自動運転にとって必須条件となり、区画線のメンテナンスサイクルの構築・維持管理は喫緊の課題です。

区画線整備に対する社会的要求の増大

自動運転に対する道路からの支援



自動運転に対する道路からの支援として、区画線の整備が必要不可欠です。区画線が認識できなければ自動運転は実現しません。自動車メーカー各社が区画線の適切な維持管理を求めています。

求められる区画線維持管理の水準

ランク	評価内容
5 健全	標示全体が維持されており、摩耗が少なく、剥離が見られない。経時による劣化の劣化が見られない。
4 予防保全段階	摩耗の進行と若干の剥離が見られるが、標示全体の形状は維持されている。経時による劣化の劣化が見られる程度である。
3 早期修繕段階	摩耗又は剥離により、標示の中に黒い部分の露出が見られる。標示全体の形状は維持されているものの、経時による劣化の劣化、割れ、クラックが見られる。
2 半緊急修繕段階	摩耗又は剥離が進行し、標示の形状において不明瞭な部分が見られるようになる。経時による劣化の劣化、割れ、クラックが著しい。
1 緊急修繕段階	摩耗、剥離が進行し、標示の形状、機能はほとんどない。経時による劣化の劣化、割れ、クラックが顕著である。

目視により、評価用写真と実際の状況の比較評価を行う。根拠として、ランクごとにそれぞれ機器を用いて剥離率、反射、輝度値、拡散反射率及び色差を測定し、分析を行った結果

➡ 目視評価ランク3で塗り替えが望ましいとの結論

災害時に貢献する減災・安全施設

我が国を取り巻く災害リスク

日本国土の約35%が災害リスク地域であり、人口の7割が災害リスク地域に居住しています。今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、首都直下地震や、温暖化による気象災害の多発・激甚化の課題に対し、想定される災害リスクに、限られた人員で立ち向かうことになります。予め災害想定箇所への進入を抑制するなど、有事の際のリスクの軽減をしていかなければいかなければなりません。減災のため我々が出来るICT技術を活用した安全施設を提案します。

防災・減災分野でのインフラDX活用

災害時に貢献する減災・安全施設
これからの道路・交通施設として、IoT化によるデータ収集と情報通信機能を備えた減災・安全施設を提案します



- 3 全ての人に健康と福祉を
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を

道路防災情報提供システム

土砂災害や道路冠水などの災害の発生が予想される場合、「遠隔通信対応LED電光表示板」の表示内容切替により、ドライバーを災害箇所まで進入させることなく、安全・安心な経路に誘導させるシステムです。端末を選ばず遠隔操作で可変させられますので、リアルタイムの情報が提供出来るため、道路管理の省力化と交通円滑化が図れます。気象庁が配信する「緊急地震速報」及び「津波警報」受信時には、自動で表示が切り替わります。



内水氾濫監視システム

WEBアプリ上で水位監視を行い、管理水位を超えるとアラートメールが管理者に通知されるシステムです。水位センサーは小型のため、防護柵等の既設構造物を利用し取り付けることが出来るため、設置方法・場所等の制約が軽減されます。運用コストも従来と比較し、大幅に削減できます。

技術紹介 中小河川水位モニタリングシステム



令和6年度 路面標示施工技能士検定 実施報告

標示部会 長坂 武久

令和6年度 路面標示施工技能士検定 実施報告

■令和6年8月21日(水)中京競馬場駐車場において路面標示施工技能士検定が実施されました。この検定は、全標協 中部支部が愛知県職業能力開発協会から国家試験の検定機関の一員として実技試験の委託を受け実施したもので、本年は中部4県から44名が受験しました。猛暑の中、協会員各社の検定委員6名、補佐員13名、補助員32名計51名の協力によって実施されました。



■この路面標示施工技能士は建設業法における国の認定を受けており《①専任技術者となる》《②主任技術者となる》《③技術者資格として評価対象になる》資格を有します。この制度を広くご活用いただくことをお願い致します。



次世代研修会・交流会

総務委員会副委員長 寺部 岳

令和6年度「次世代研修会」開催報告

神戸市内の防護柵製造工場を訪問

当協会では業界の未来を背負って立つ経営者や実務責任者、現場管理者の方々に、日頃取り扱っている製品の製造工程や品質管理方法などの専門的な知識を深めるため、製造メーカーや二次加工業者のご協力のもと、次世代研修会を定期的に開催しております。今年は愛知県を飛び出し神戸市へ赴き、一日目は防護柵の製造会社にご協力頂いて、防護柵の製造工程や品質管理などを研修させて頂きました。2日目は「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」を見学しました。



1 日目は実際に工場を見学し、効率的な生産方法、工場内での従業員の安全管理、高品質を維持するための検査設備、完成品の出荷方法など、普段学ぶことのできない専門的な知識を深めることができました。工場見学の後の質疑応答でも積極的に質問をする姿が印象的であり、次世代の協会員の頼もしさを強く感じました。また研修会終了後には交流会を開催し、日頃、会うことの少ない会員相互の交流の場となりました。



2 日目は「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」を見学し、今後発生が予想されている南海トラフ地震などの大災害に対する防災、減災について学びました。働いているスタッフの方々も阪神・淡路大震災を経験されている人が多く、震災発生当時の様子や経験から学んだ防災・減災の知識を教えてもらいました。次年度以降も次世代における当協会員のレベルアップを目的とし、本研修会を継続して参りたいと思います。



(一社) 愛知県道路標識・標示業協会 定時総会開催報告

総務委員会 成田 聡

(一社) 愛知県道路標識・標示業協会 定時総会開催報告

* 交通安全施設の専門業者団体としての役割

令和6年5月8日サイプレスガーデンホテルにて、(一社)愛知県道路標識・標示業協会定時総会が開催されました。開会に先立ち加藤会長は、当協会の使命は「交通事故の無い社会」を目指し「誰もが安全に移動できる道路環境を実現」することであり、そのために技術の向上、技術者の育成、交通安全施設の提案、そしてボランティア活動などの社会貢献活動に注力していくことが必要であり、今後は自動運転社会を見据えた道路環境の整備や特定小型電動機付自転車に注意喚起を促す交通安全施設の提案など、「我々に求められていること」「必要とされていること」を模索する活動を続けて参りたい。当協会としての社会的使命を果たすために会員の皆さまにもご理解とご協力をお願い致しますと挨拶されました。また総会では、「非常災害時保安機材供出ネットワーク」の強化や「子どもを守るプロジェクト」の推進、そして次世代の人材確保と育成など令和6年度の事業計画を可決しました。また、総会終了後に引き続き「全体会議」も開催いたしました。



挨拶をする加藤会長

* 議事内容

定時総会議題

- ・ 第1号議案 令和5年度事業報告の承認を求める件
- ・ 第2号議案 令和5年度収支決算報告の承認を求める件
- ・ 第3号議案 令和6年度事業計画案の承認を求める件
- ・ 第4号議案 令和6年度収支予算案の承認を求める件

* ご来賓の方より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました

- ご来賓…愛知県警察本部 交通部交通規制課 課長 金崎 翔平 様
- ご来賓…愛知県建設局 道路維持課 課長 加藤 敬 様
- 祝 電…当協会顧問 愛知県議会議員 寺西 睦 様



愛知県警察本部 交通部交通規制課 課長 金崎翔平様



愛知県建設局 道路維持課 課長 加藤敬様

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

会員名簿

正 会 員	電 話 番 号
(株) アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
(株) イセヤス 建材	(0532)33-3303
(株) オカム ラ	(0567)65-6050
小 田 鐵 網 (株)	(052)351-5181
(株) キクテック	(052)611-0680
協 栄 産 業 (株)	(0567)65-2995
(株) 京 伸	(0565)33-2141
(株) 金 原	(0532)31-4969
(株) コウエイ	(052)822-5137
交通企画(株)名古屋営業所	(052)938-6320
サンダイ技建(株)	(0568)43-3221
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
順 天 工 業 (株)	(0565)48-4851
スロープガード(株)	(0564)28-0661
(株)ダイエーディスプレイ	(052)411-3811
(有) ダ イ シ ン	(0532)26-0361
大 電 土 木 (株)	(0565)53-3883
中日保安設備(株)	(0587)95-1284
中 部 道 路 (株)	(052)772-6131
(株) 中部道路施設	(0586)51-6669
寺 部 安 全 施 設 (株)	(0563)65-2800
東 愛 工 業 (株)	(0565)53-2072
(株) 東 亜 製 作 所	(052)891-1711
東 亜 ラ イ ン (株)	(052)624-5071
東 京 戸 張 (株)	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業(株)	(0562)33-1676
東 祐 工 業 (株)	(0565)27-6885
東 陽 工 業 (有)	(0565)26-9111
東 陽 テ ッ ク (株)	(052)651-4531
豊 田 (株)	(052)935-5561
西 尾 ラ イ ン (株)	(0563)54-3481
日 道 工 業 (株)	(052)265-7137

正 会 員	電 話 番 号
(株) 日本道路システム	(0564)26-3381
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)豊橋営業所	(0532)31-6230
藤 安 全 施 設 (株)	(0567)95-8038
(株) マ イ ・ ロ ー ド	(052)805-1131
(株) 前 山	(052)841-9250
(株) みどり安全社	(0564)48-2888
美 松 工 業 (株)	(0569)29-2751
名 東 電 気 工 事 (株)	(052)763-2141
名 阪 興 業 (株)	(0566)82-8818
(株)メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森 工 業 (有)	(0565)44-0255

賛 助 会 員	電 話 番 号
(株)アークノハラ名古屋営業所	(052)218-5238
(株)吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
G X (株)	(0532)52-4577
(株)興和工業所土木建材部	(0569)29-3041
三 永 商 事 (株)	(052)232-5800
サ ン コ ー 企 画 (株)	(076)289-6708
(株)三陽商会中部支店	(0567)57-0160
篠 田 (株)	(058)214-3497
(株)篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
スリーエム ジャパン(株)TSD販売部	(03)4578-4313
積水樹脂(株)中部支店	(052)961-1571
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
日鉄神鋼建材(株)名古屋支店	(052)265-8982
日本地工(株)名古屋営業所	(052)899-4111
不動フェンス工業(株)	(052)726-9970
保安道路企画(株)愛知営業所	(045)955-4311



■お問合せ先

〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目13番46号
ウストリアビル5階

TEL (052) 241-4515

FAX (052) 252-8156

E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>